

国際交流研究科 博士前期課程

修士論文

審査基準

- (1) 研究課題が明確かつ適切であること。
- (2) 精深な学識に基づき、先行研究を十分おさえ、論証に必要な情報収集が適切に行われていること。
- (3) 研究方法、つまり作品・資史料・データの解釈・分析・立論が適切に、一貫性をもって行われていること。
- (4) 論旨が明快かつ矛盾なく展開され、設定した課題に対する結論が明確に示されていること。
- (5) 文章表現が適切であり、目次・章立て・注記・図表などの論文体裁が整っていること。
- (6) 上記の基準を満たした上で、それぞれの達成度によって成績評価が行われる。

審査体制

- (1) 審査委員は、主査1名、副査2名以上とする。
- (2) 審査委員による最終試験（口頭試問）を課す。
- (3) 審査の結果は、国際交流研究科委員会において審議し、修士の学位を授与することの可否を議決する。